

Q 大阪滋賀県人会、その歴史はどうでしたか…?

A 昭和 29 年、光井司郎氏の呼びかけで結成された大阪滋賀県人会は、31 年設立総会に併せ盆踊り大会が開かれて以来 66 年の歴史を持ち、初代小菅会長から植本会長まで 7 代を数えます。盆踊りが中心で始まった当会も、46 年頃からバスツアー・ゴルフ等で親睦を深め、会報誌『近江路』も刊行さ

れました。一方、びわこ国体では物心両面から支援し故郷との交流を温めました。創立 50 年頃からファミリー会員制度が導入され女性会員も増え、年間 11 行事が恒例となり現在に至ります。創立 60 年を機に滋賀県下 13 市 6 町の首長には名誉顧問にご就任頂き、3 年後には創立 70 年を迎えます。



昭和 31 年 8 月 6 日、大阪滋賀県人会設立総会&江州首領盆踊り大会の様子…歴史の重みを感じる



平成 3 年、年度末役員会【やまぐち】



平成 4 年、新年総会&懇親パーティー



平成 17 年、大阪滋賀県人会設立 50 年記念式典



平成 21 年、新年総会&懇親パーティー



滋賀県庁



長浜市

平成 26 年から表敬訪問スタート



「人々がお互いに仲良く調和していくことが大切である」を、当会の心の拠り所とした

和を以て貴しと為す



大阪滋賀県人会活動テーマ



令和 2 年新年総会&懇親パーティー



平成 27 年の創立 35 年記念式典開催、乗客 300 名



平成 29 年ミシガン船上納涼ファミリー大会

初代 小菅 宇一郎
昭和 29 年 [1954]
昭和 31 年 [1956]
昭和 38 年 [1963]

二代 越後 正一
昭和 43 年 [1968]
昭和 46 年 [1971]
昭和 47 年 [1972]
昭和 53 年 [1978]
昭和 54 年 [1979]
昭和 55 年 [1980]
びわこ国体(昭和 56 年)
平成 元年 [1989]

三代 光井 司郎
平成 3 年 [1991]
平成 6 年 [1994]
平成 7 年 [1995]
阪神・淡路大震災
平成 8 年 [1996]
平成 10 年 [1998]

四代 村田 長兵衛
平成 13 年 [2001]
平成 15 年 [2003]
平成 17 年 [2005]

五代 徳岡 昌克
平成 19 年 [2007]
平成 22 年 [2010]

六代 光井 良治
平成 23 年 [2011]
東日本大震災
平成 25 年 [2013]
平成 26 年 [2014]
平成 27 年 [2015]
平成 29 年 [2017]

七代 植本 勇
平成 30 年 [2018]
令和 元年 [2019]
令和 7 年 [2025]

■ 光井司郎氏〔東光商事〕の呼びかけで、小菅宇一郎氏〔伊藤忠商事〕、小島章吉氏〔稲西〕が発起人となって大阪滋賀県人会を結成。
■ 創立準備会合で役員・運営委員を選出、創立総会と盆踊り大会の準備に取り組み、**8月6日**総会&盆踊大会開催。小菅宇一郎氏初代会長に就任。
■ 会報誌が創刊されるも記録なく今では『幻の近江路』となった。

■ 越後正一氏〔伊藤忠商事〕氏、二代会長に就任。
■ バスツアー始まる。
■ 大阪滋賀県人会会報誌『近江路』創刊。
■ 会員千名獲得の大目標をたてたが、かえって会費徴収の煩雑さや若手会員の變動の激しさ等、専属事務局員の必要性が浮き彫りになった。
■ 県人会ゴルフコンペ始まる。
■ 創立 25 年は 80 年代の幕開け、翌年の「びわこ国体」に物心両面から支援活動展開。

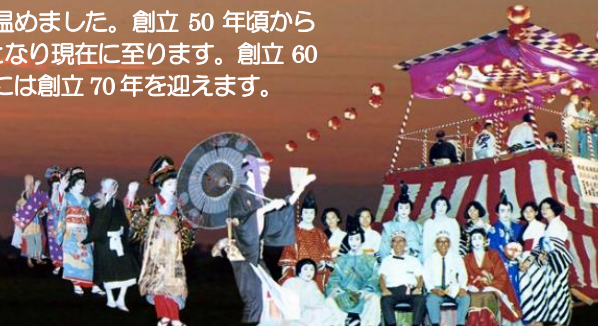
■ 年号は平成。“せんば盆踊大会”は“御堂筋盆踊り大会”と改称。
■ 光井司郎氏、3 代会長に就任。
■ 初めて海外旅行“香港・マカオ探訪ツアー”を実施。
■ 戦後 50 年、阪神・淡路大震災で準備していた新年総会&懇親会は急遽中止。
■ 病原性大腸菌 O-157 が猛威を振り、苦渋の選択を強いられたが事務局・運営委員の努力に、御堂筋盆踊り大会を開催。
■ 室内で初めての盆踊り大会。

■ 村田長兵衛氏〔村田長〕4 代会長に就任。野外で最後の御堂筋盆踊り大会。
■ 女性会員獲得と世代伝承を念頭にファミリー会員制度を導入。盆踊大会を『江州首領・納涼ファミリー大会』と改名。
■ 創立 50 年、記念式典開催。記念カレンダー・50 年記念誌・会員名簿を発行。記念バスツアーは滋賀の一泊旅行、ゴルフコンペも『県人会マスターズ』と改称。

■ 徳岡昌克氏〔徳岡設計〕五代会長に就任。滋賀県人会世界大会は天津で開催され、会長は同大会実行委員副会長を拝命。この年“大阪滋賀県人会”ホームページを開設。
■ 観劇会・ハイキング・市場見学等の“サークル会”が生まれ、年間 11 行事が整う。

■ 光井良治氏〔東光商事〕第 6 代会長に就任。3 月、東日本大震災義援金を募る。
■ 滋賀県下 13 市 6 町の首長、名誉顧問に就任〔知事の就任は平成 30 年〕。会報誌『近江路』刷新、グラビア調カラー版〔78 号〕となる。
■ 滋賀県下 13 市 6 町を表敬訪問し、以後継続して今日に至る。

■ 大阪滋賀県人会創立 60 年、記念式典には 230 名参加。当会史を網羅した『60 年記念誌』発行。
■ 活動テーマ聖徳太子の十七条憲法から『和を以て貴しと為す』に決定。
■ 植本勇氏〔小泉〕第 7 代会長に就任。三日月大造滋賀県知事名誉顧問に就任。
■ 会員増強 3ヶ年計画実施。
■ 大阪滋賀県人会創立 70 年。



盆踊り大会は船場の風物詩となり、仮装踊りは年々が派手さを増すなど大いに盛り上がった。



1979 年から始まったゴルフコンペ



1971 年から始まったバスツアー



1975/第 20 回せんば盆踊り大会



1994/香港・マカオ探訪ツアー



病原性大腸菌 O-157 の猛威に対応し盆踊り開催にこぎつけた当時の運営委員と事務局の皆さん。

創立当初から十数年は、盆踊り大会が全てで一年一行事であったが、新年総会&懇親パーティー、そして昭和 40 年代半ばからバスツアー・ゴルフ大会が行事に加わった。創立 50 年以後、観劇会・ハイキング・市場見学等の“サークル会”が生まれ、役員総会なども入れると年間 13 行事が恒例となり現在の形になった。



平成 27 年納涼ファミリー大会